

## 悠紀齋田御田植え唄

1915（大正4）年の大正天皇の大嘗祭を行うに当たり、儀式に用いる、悠紀齋田御田植歌が、1915（大正4）年5月に発表された。歌詞は、熱田神宮宮司の岡部譲、齋田地村長の早川龍介、安城農林学校長の山崎延吉によるものであった。また曲調は「五萬石でも岡崎様は城の下まで船がつく」の民謡が基調にされた。2013年6月9日に悠紀の里の第1期工事である歴史民俗資料室がオープンしそれに合わせて御田植え唄の碑が建立された。

1番は岡部譲、2番は早川龍介、3番は山崎延吉が作詞している。

1番 岡部 譲 作

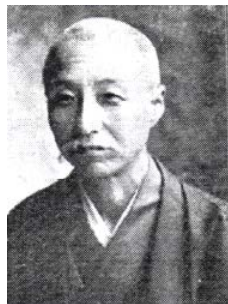
今日のよい日の御田植はじめ、稲の萬歳御代のかず  
やがて世界の六ツ美（睦み）の種も悠紀の御田より出るやうに

2番 早川龍介 作

管の小笠に揃ひの着物、苗もそろへば氣もそろふ  
三河萬歳萬歳稲の穂に穂出るよに祈らんしよ

3番 山崎延吉 作

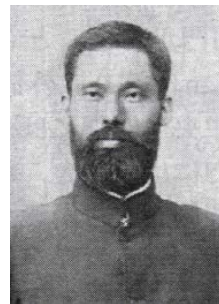
早苗うゑましよ眞すぐに植ゑう、すぐは神様およろこび



岡部譲



早川龍介



山崎延吉



齋田地の記念碑 大嘗祭悠紀齋田 御田植唄 2013(平成25)年 20160628



本項は以下の資料を引用している。

**[大嘗祭 悠紀齋田]**

筆者：野々山 克彦

監修：野村 弘、都築 末二、山崎 鉦司、越山 義之

発行日：2014（平成26）年4月1日

印刷所：永田印刷所

**[大嘗祭 六ツ美悠紀齋田100周年記念事業記念誌]**

編集・発行：六ツ美悠紀齋田100周年記念事業実行委員会記念誌編集委員

発行日：2016（平成28）年2月25日

印刷所：大日印刷株式会社

**[わたしたちのふるさと 六ツ南114選]**

監修者 総代会長 平井 良美

社教委員長 近藤 武美

著者 岡崎市立六ツ美南部小学校6年児童114名

（平成25年3月19日卒業）

編者 岡崎市立六ツ美南部小学校6年担任

権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛

発行日 2013（平成25）年3月1日 初版発行

印刷所 ブラザー印刷株式会社

製本 ブラザー印刷株式会社

発行 岡崎市立六ツ美南部小学校